

横浜駅周辺の再開発が進み、1.5km圏に多彩な商業スポットが集積。

大規模再開発でビジネス拠点都市としてのポテンシャルが高まる横浜駅周辺。
2020年、再開発事業「エキサイトよこま22」の中心プロジェクトとして駅ビル「JR横浜タワー」が完成しています。
現地から「横浜」駅へは徒歩16分。駅ビル別館の「JR横浜鶴屋町ビル」から歩行者デッキを通して横浜駅きた西口へ快適にアプローチできます。



横浜駅西口



JR横浜タワー

商業施設「NEWoMan横浜」「CIAL横浜」「Tジョイ横浜」やオフィスフロアで構成されるJR横浜駅の駅ビル。1階から4階までガラス張りのアトリウムがあり、イベントスペースのある広場も設置。6階には屋上庭園「NEWoMan Garden」でオープンエアが楽しめます。

JR横浜鶴屋町ビル

「ホテルメッツ横浜」商業施設「CIAL横浜ANNEX」やフィットネスクラブなどをもつJR横浜タワーの別館。



乗車人員ランキング
第3位

横浜駅はJR東日本の乗車ランキングで第3位。

1位	新宿	477,073
2位	池袋	376,350
3位	横浜	290,376
4位	東京	271,108
5位	渋谷	222,150

(1日平均、単位：人)
出典：東日本旅客鉄道「2020年度駅別乗車人員データ」

発展を続ける「みなとみらい」再開発地区。広大な商業・文化・ビジネス拠点。

みなとみらい地区は、横浜都心部の一体化を進めるウォーターフロントの街。横浜ランドマークタワー、パシフィコ横浜、MARK IS みなとみらいがある中央地区、横浜ワールドポーターズ、横浜赤レンガ倉庫がある新港地区などがメインエリア。横浜駅東口にはそごう横浜店や大企業本社があるヨコハマポートサイド地区、馬車道近くには横浜市庁舎が移転した北仲通地区があります。



みなとみらい

ヨコハマポートサイド地区

横浜ベイクォーター

横浜のウォーターフロントを代表するショッピングモール。「横浜」駅きた東口から徒歩3分で直結しています。海辺にシーバスの発着所があり、山下公園や赤レンガ倉庫を往復するなど横浜を回遊する便利な拠点です。



新港地区

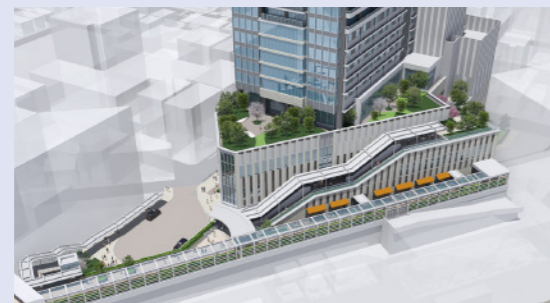
横浜赤レンガ倉庫

歴史的建造物を修復して生まれた横浜赤レンガ倉庫。横浜ベイブリッジ、横浜港大さん橋など港の夜景を楽しむ観光スポット。石畳の屋外スペースではフェスやライブなど様々なイベントが季節ごとに催されます。



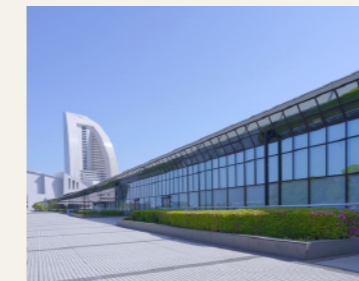
横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発

JR横浜駅の駅ビル2階に歩行者デッキで直結する大規模再開発ビル。地上43階地下2階の建物に店舗、ホテル、オフィス、サービスアパートメント、住宅などで構成されます。計画地のある鶴屋町地区は、地域と横浜駅西口のセンターゾーンを連携させる新たな都市機能の拠点として期待されます。(2024年3月竣工予定)



出典：横浜駅きた西口鶴屋地区第一種市街地再開発事業HP

中央地区



パシフィコ横浜

横浜みなとみらい国際コンベンションセンター。ヨットの帆を模したインターコンチネンタルホテルが併設されています。



MARK IS みなとみらい

みなとみらい駅に直結するMM地区最大の床面積をもつ大型商業施設。グランモール公園を挟んで横浜美術館があります。



横浜ワールドポーターズ

ファッション、インテリア、雑貨など個性的な約200店舗が集まる商業施設。近隣には観覧車のあるコスモワールドがあります。